

令和2年12月23日

生駒市長 小紫 雅史 様

生駒市環境マネジメントシステム推進会議  
会長 矢田 千鶴子

## 環境監査報告書

当会議は、令和元年度における貴市の環境マネジメントシステムに基づく取組に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1. 総合所見

#### 1-1 全般的事項

今年度の監査から、第3次生駒市環境基本計画、第2次生駒市環境モデル都市アクションプラン、生駒市SDGs未来都市計画の3つの計画に基づく施策の進捗管理を行っています。市の活動や、市内の事業者を含めた地域の皆さんの活動によって生じる様々な環境負荷を減らすために、継続的に取組を改善し、環境行動を推進するためのしくみとして、新たな「生駒市環境マネジメントシステム」を運用しています。

事務局、監査対象所属、監査員においても、初めてのシステム運用による戸惑いがあったと思いますが、エコオフィスの取組だけでなく独自取組を進められている部署が多くなってきており、環境行動への取組が定着してきた事を確認しました。

新たな運用方法となり、調査票やヒアリング方法については改善の余地があると思いますので、来年度以降の課題にしていきたいと感じます。

今後は、各部門のより一層の連携強化を図り、この環境マネジメントシステムを重要な仕組みとして長期的に推進されることを期待します。

#### 1-2 個別的事項

##### (1) 各計画に基づく環境関連事業一覧

###### 【調査票】令和元年度の実績及び令和2年度の実績予定（目標）

それぞれの所属が第3次生駒市環境基本計画、第2次生駒市環境モデル都市アクションプラン、生駒市SDGs未来都市計画の3つの計画における具体的な事業を進めており、令和元年度の実績及び令和2年度の実績予定を記入していただきました。来年度以降も予定通りに各種事業を進めてください。

##### (2) エコオフィス、独自施策の実績状況等

###### 【エコオフィス実績状況アンケート】

全体の回答数が少ないようでしたので、来年度以降の実績時には、より多くの周知を行い、回答率が今年度より上回るような実施方法を検討ください。

### 1-3 各部署の監査への対応について

今回行ったヒアリング監査では、監査員が3班に分かれ、1班2人ずつ各所属を回りました。30分の時間の中で、それぞれの所属が取組む具体的な事例について熱心にご説明いただき、我々監査員との会話もスムーズに行えた事において、感謝の意を表します。

しかしながら、一部の部署においては担当者が異動し、引継ぎが不十分な状態でのヒアリングにのぞまれ、十分な内容確認ができなかった、また急な業務の都合によりヒアリングの予定時間に担当職員が不在であった、など運用についての課題も散見されました。

今回、ヒアリングの対象にならなかった所属の方々についても、引き続き日常的な環境活動の啓発をしてください。

## 2. 実施概要

### 2-1 実施方法及び監査対象

主として次の帳票をもとに、それぞれ対象となる所属に対して監査を実施しました。

帳票種別	監査対象とする項目	監査対象所属
書面調査票	・環境基本計画、アクションプラン、SDGs 未来都市計画に定めている各事業の取組状況	各計画の個別事業担当所属 24ヶ所  総務課、防災安全課、市民活動推進課、SDGs 推進課、農林課、商工観光課、男女共同参画プラザ、環境保全課、清掃リレーセンター、地域包括ケア推進課、健康課、管理課、事業計画課、土木課、都市計画課、学研推進室、住宅政策室、建築課、みどり公園課、花のまちづくりセンター、下水道課、浄水場、こども課、子育て支援総合センター
エコオフィス取組状況アンケート	・エコオフィスの取組（全職員に共通した取組）、本来業務における環境配慮、独自施策（各部署の取組）の取組・実施状況	10部1室の各所属、学校、幼稚園、保育園、施設（指定管理施設を含む）

## 2-2 実施内容

### 書面監査及びヒアリング監査

提出された所属毎の書面調査票とエコオフィス取組状況アンケートの回答結果について、班ごとに担当分を確認し、ヒアリングの内容を踏まえて各所属フィードバック用のコメントとして「評価できる点」「改善を要する点」を記入しました。

#### ・書面監査

個別事業に関する進捗状況等【調査票】、エコオフィス、本来業務における環境配慮項目の実施状況【エコオフィス取組状況アンケート】を使用。調査票は該当所属のみ、エコオフィス取組状況アンケートは全職員対象（学校、施設等含む）

#### ・ヒアリング監査

##### ①ヒアリング先の選定

全ての所属の中で、以下の観点からヒアリング先31ヶ所を選定しました。

##### 【選定の観点】

- ・書面調査票の対象24所属は全てヒアリング先とした。
- ・書面調査票の対象でない所属の中で、過去のヒアリング監査で、対象に選ばれた回数が少ない所属をヒアリング先とした。

##### ②ヒアリングの実施（R2/10/27、11/4、11/10）

提出された帳票をもとに、監査員が各所属30分程度でヒアリング及び現場の確認を実施しました。

班分け	ヒアリング先	担当委員
1班	事業計画課、環境保全課、健康課、子育て支援総合センター、総務課、防災安全課、農林課、財政課、上中学校、たけまるホール	矢田委員、松山委員
2班	土木課、こども課、下水道課、市民活動推進課、都市計画課、管理課、男女共同参画プラザ、障がい福祉課、清掃リレーセンター、竜田川浄化センター	田平委員、山口委員
3班	学研推進室、みどり公園課、建築課、花のまちづくりセンター、山崎浄水場、商工観光課、地域包括ケア推進課、住宅政策室、高山竹林園、生駒中学校	落合委員、和田委員

※なおSDGs推進課のヒアリングは全ての班が担当となり実施しました。

### 3. 監査結果

#### 3-1 各所属毎ヒアリング結果一覧

所属	評価できる点	改善を要する点（要望事項）
財政課	・部署業務の特性から大容量のデータを大量に印刷する必要がある所属ですが、ミспリント防止に、「Docuworks」を導入し紙の使用量の抑制に努めておられる点が評価できます。	・ごみの分別の再確認をお願いします。
総務課	・廃棄文書の取り扱いを誰もが分かり間違わないように工夫されていました。またファイルの再利用もされている点も評価できます。	・車両交換時には、環境にやさしい電気自動車の導入も引き続き検討するようお願いします。
防災安全課	・警報発令時や特殊詐欺の防止に対して、広報・周知啓発にスピード感を持ち対処している点が評価できます。	・ハザードマップを活用してさらなる啓発をお願いします。
市民活動推進課	・ごみの分別等について、当然やるべきこととしての認識が課の皆様に着している点が評価できます。	自治会への補助金について、自治会館への太陽光発電の設置はあまり進んでいないようですので、自治会館の新築改築時等に積極的に提案していただきますようお願いいたします。
SDGs推進課	・2019年度にSDGs未来都市に選定されたことや、「ゼロカーボン都市宣言」をおこなったことが評価できます。本宣言は全国では8番目で、政令指定都市以外では初とのこと。 ・「コミステ」の実証実験をおこない、2020年度からの本格運用につながりました。その結果、高齢者の外出の機会づくりと住宅地内の交流の場づくりができました。	・SDGs未来都市に選定され、10月にはSDGs未来都市計画を策定していますが、市民の認知度は低いです。次年度以降、もっと積極的に市民への周知・啓発に取り組まれることを希望します。 ・本来業務の環境基本計画の推進が積極的でないように思えます。リーディングプロジェクトには積極的に取り組むよう図ってください。 ・整理整頓ができていないオフィスは、総じて環境への取り組みにも配慮しています。環境マネジメントシステムの取組をはじめ8年。少々、「ゆるみ」が生じているようです。今一度原点に立ち返り、庁内のエコオフィスづくりによりいっそう励んでいただくようお願いします。
農林課	農業ビジョンに基づいて以下の環境に優しい視点での取り組みが進んでいます。 ・地産地消を進める青空市を定期的に開催しています。 ・自治会の要請によって運行している移動販売車はフードマイレージの視点や買い物難民解消に役立っています。 ・障がい者の職場体験を受け入れて市民農園の草刈りができました。	・森林環境譲与税の有効活用について引き続き検討をお願いします。
商工観光課	・課長自身がごみの分別に熱心で、課のごみの分別を日頃からチェックされているようで、とても良い心がけだと思いました。	・時期的にとっても忙しい所属のようですが、エコオフィス取組状況アンケートの回答率が低かった点が残念です。
高山竹林園	・広い敷地であり来客数増のために必要不可欠な電気や水ではあるが、エアコンを一括管理したり、使わない部屋の電気は日中であっても消灯する、水の流れもタイマー管理するなど、観光施設特有の節電方法が見られた点が評価できます。	
男女共同参画プラザ	・節電は明かりが不要なところの照明器具を外しておられます ・講座「スタイリングウィーク」において、目標に掲げた「あらゆる分野での女性の活躍を推進」を実践し、好評であったことが評価できます。	

所属	評価できる点	改善を要する点（要望事項）
環境保全課	・「食品トロック」という食品の物々交換の仕組みづくりと運営をすすめておられる点が評価できます。	
清掃リレーセンター	・感染対策を十分に行ったうえで、リユース品の利用を促進している点が評価できます。また、ごみ減量化のために、剪定枝粉碎機を貸し出して、チップ化や堆肥化を推進されています。	・大型ごみ受付段階において、リユース品を分別する回収方法の検討を今後、更に進めていただきたいと思います。
障がい福祉課	・物品調達の一部を、障害者就労施設等から優先調達している点が評価できます。 ・他部署と協力して農福連携を推進されています。	
地域包括ケア推進課	・介護予防教室等で外出機会の多い所属ではありますが、電動自転車を積極的に利用されている点が評価できます。	・ゴミの分別が他の所属に比べると不十分と感じましたので、今後進めていただきますようよろしくお願いいたします。
健康課		・手狭で職員数が多い為、仕方ない部分もあると思いますが、オフィス全体が雑然としているように感じられましたので、皆様エコオフィスを心がけるようにお願いします。 ・ごみの分別についても、まずエコ推進員から率先してエコオフィスづくりをすすめてください。
管理課	・各種の情報データは、パソコン内で共有化して、コピーや紙ごみの減量を行っている点が評価できます。	・エコオフィス取組状況アンケートの回答が少数でしたので、来年度実施時は皆様に回答していただきたいと思います。
事業計画課	・人、道路、川、駅の整備を総合的・一体的に計画されている点が評価できます。	
土木課	・通勤距離の短い人が、自転車通勤を始めたか、公用車の利用は乗り合いを心がけていることが評価できます。 ・節電・節水・コピー紙の節約・ごみの分別・公用車の利用について、意識の高い人が課内にいるので、全員の意識行動が高まっています。	
都市計画課	・都市計画情報や地図を、市ホームページから検索入手できるようにして、利便性が図られています。	
学研推進室	・PCに「使い終わりは必ず電源を切ってください」のラベルが貼ってあり、節電に対する意識が高い点が評価できます。 ・公用車の代わりに自転車を多用されているようです。	
住宅政策室	・いこま空き家流通促進プラットフォームの運用が進んでおり、成約件数も順調に推移しているようです。間に市が介入していることで、売り手、買い手どちらにも安心感が生まれると感じます。	・近場の空き家訪問にお一人で行かれる際に、積極的に自転車を利用していただければと思います。

所属	評価できる点	改善を要する点（要望事項）
建築課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ改修補助金の案内を納税通知に同封している、その結果問い合わせの電話が多数かかってくるようになった点が評価できます。</li> <li>・ゴミ箱に付箋を貼って分別の意識を高めておられます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙の電子化を積極的に進めていくとおっしゃっていましたので、来年度以降、ペーパーレス会議等を実施していただけたらと思います。</li> </ul>
みどり公園課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙の印刷についてなるべく2アップで印刷しておられます</li> <li>・twitterのフォロワー数が年100人ペースで増えています</li> <li>・課長は移動は原付を多用しておられます</li> <li>・ゴミ箱に付箋を貼って分別の意識を高めておられます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裏紙使用率が少ないようですが、個人情報多数取り扱うの手前、仕方ない部分もあるかと思えます。少しずつでも裏紙使用の機会を増やしていただきますようお願いいたします。</li> </ul>
花のまちづくりセンター ふろーらむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花の水やりには井戸水を利用することで大きな節水効果が生まれています。またゴミ箱の分別が大きくはっきりとなされている点も評価できます。</li> </ul>	
下水道課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地形的に下水道の普及が進みにくい生駒市で、普及率70%を超えていることが評価できます。</li> <li>・合併処理浄化槽設置補助事業を実施し、設置数を増加させている。さらにパンフレットや自治会等を通じて積極的に啓発されています。</li> </ul>	
竜田川浄化センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本来業務において、電力使用量をデマンド監視により「見える化」し、かつ、処理状況を見ながら機器の間欠運転をして、節電によりCO2削減を目標を決めて行っています。</li> </ul>	
浄水場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小水力発電を取り入れ、温室効果ガスの削減につながっている点が評価できます。</li> <li>・ゴミ箱の分別が細かく、電池入れやミックスペーパー入れなど分別されたゴミ箱がーか所に集約されていて非常にわかりやすかったです。</li> </ul>	
こども課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設管理のトイレ改修において、エコ製品を取り入れておられます。</li> <li>・東保育園で水道の節水弁を試験的につけて、今後の節水を検討されている点も評価できます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立地空き家の周辺保育園へ、空き家活用を積極的に促進してください。</li> </ul>
子育て支援総合センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みっきランド等同センター内で市民が利用できる施設の利用人数が年間延べ2万人を超えている点が評価できます。</li> </ul>	
生駒中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議資料は基本的にPDFをディスプレイに映し出す方法で実施し、紙は使わないのとのことであり、使用枚数の大幅な削減につながっている点が評価できます。</li> <li>・制服のリサイクルをされています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒用のプリントなどにはどうしても多量の紙が必要ではあるが、今後タブレットの支給予定もあるようですので、積極的に取り入れて、紙使用量の削減につなげていただければと思います。</li> </ul>
上中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの教育を積極的に取り組んでおられます。教員の方々もSDGsに関心を持ち自主研修をしておられる点が評価できます。</li> </ul>	
たけまるホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館内にごみ箱を設置せず、来館者には、ごみの持ち帰り公共交通での来館を呼びかけておられる点が評価できます。</li> <li>・事務所・コピー室・休憩室の整理整頓もきっちりできています。</li> </ul>	

### 3-2 優良事例の整理

各種帳票及びヒアリングの結果の中から優良事例を抽出しました。抽出した事例は、次年度の環境マネジメントシステム運用方針にも掲載し、全所属での水平展開につなげてください。

#### <抽出の観点>

- ① 独自の工夫が凝らされている ②新しい取組である ③大きな成果を挙げている

所属		所見
市民部	男女共同参画プラザ	節電について、明かりが不要なところの照明器具を外していること。
市民部	清掃リレーセンター	コロナ感染対策をしながら、リユース品の利用を促進していること。また、ごみ減量化のために、剪定枝粉碎機を貸し出して、チップ化や堆肥化を推進されていること。
福祉健康部	地域包括ケア推進課	介護予防教室等で外出機会の多い所属であるが、電動自転車を積極的に利用されていること。
建設部	土木課	通勤距離の短い人が、自転車通勤を始めたり、公用車の利用は乗り合いを心がけていること。
都市整備部	建築課	省エネ改修補助金の案内を納税通知に同封し、その結果問い合わせの電話が多数かかってくるようになったこと。
都市整備部	花のまちづくりセンター ふるーらむ	花の水やりに井戸水を利用することで大きな節水効果が生まれていること。
上下水道部	下水道課	合併処理浄化槽設置補助事業を実施し、設置数を増加させている。さらにパンフレットや自治会等を通じて積極的に啓発を行っていること。
上下水道部	浄水場	小水力発電を取り入れ、温室効果ガスの削減につながっていること。
教育こども部	生駒中学校	会議資料は基本的にPDFをディスプレイに映し出す方法で実施し、紙は使わないことにしている。その結果、使用枚数の大幅な削減につながっていること。
生涯学習部	たけまるホール	館内にごみ箱を設置せず、来館者には、ごみの持ち帰りや公共交通での来館を呼びかけていること。

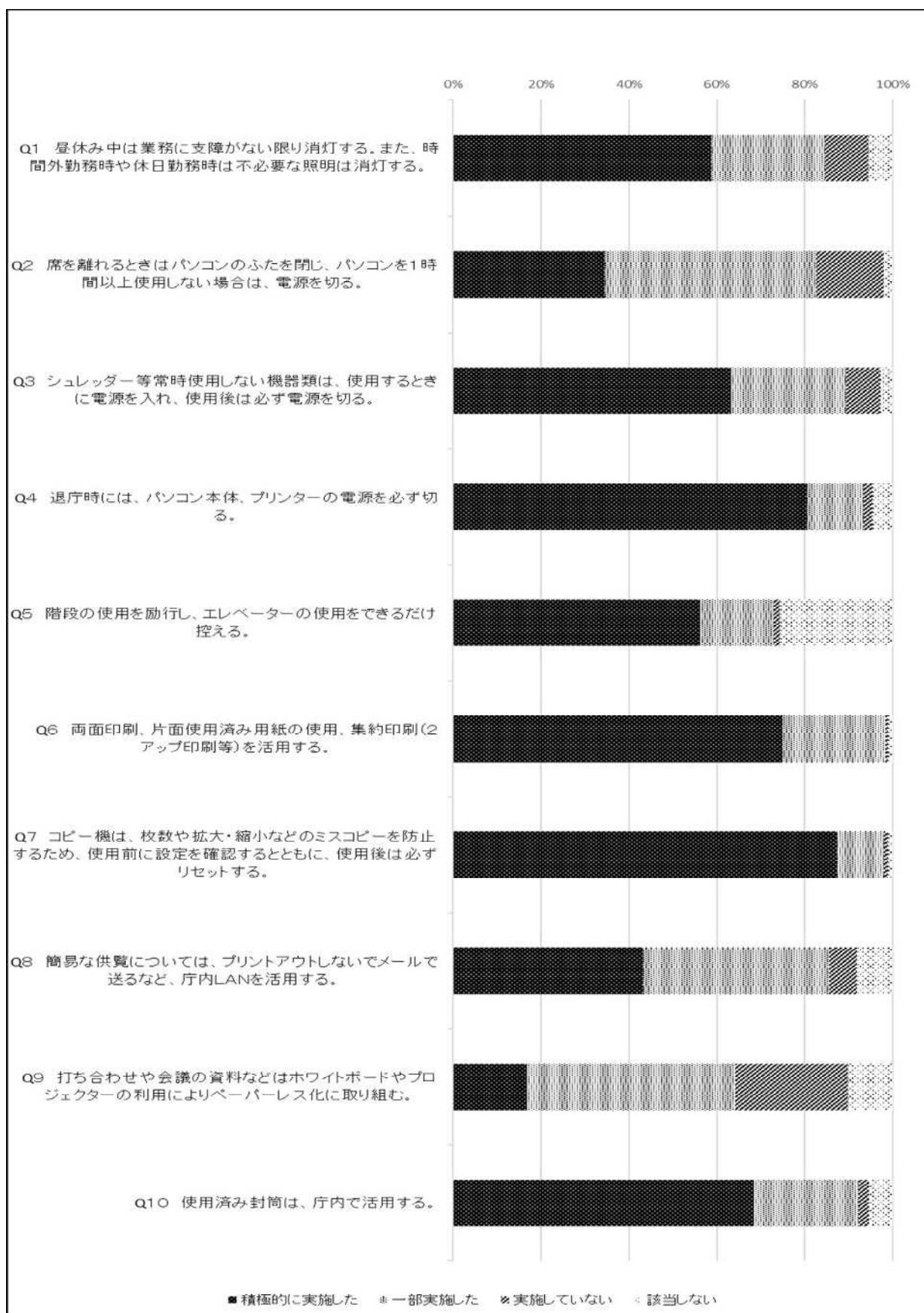
## 4. 次年度の運用における改善点

今年度の運用において、以下のような改善点がありましたので、次年度の運用方針等に反映してください。

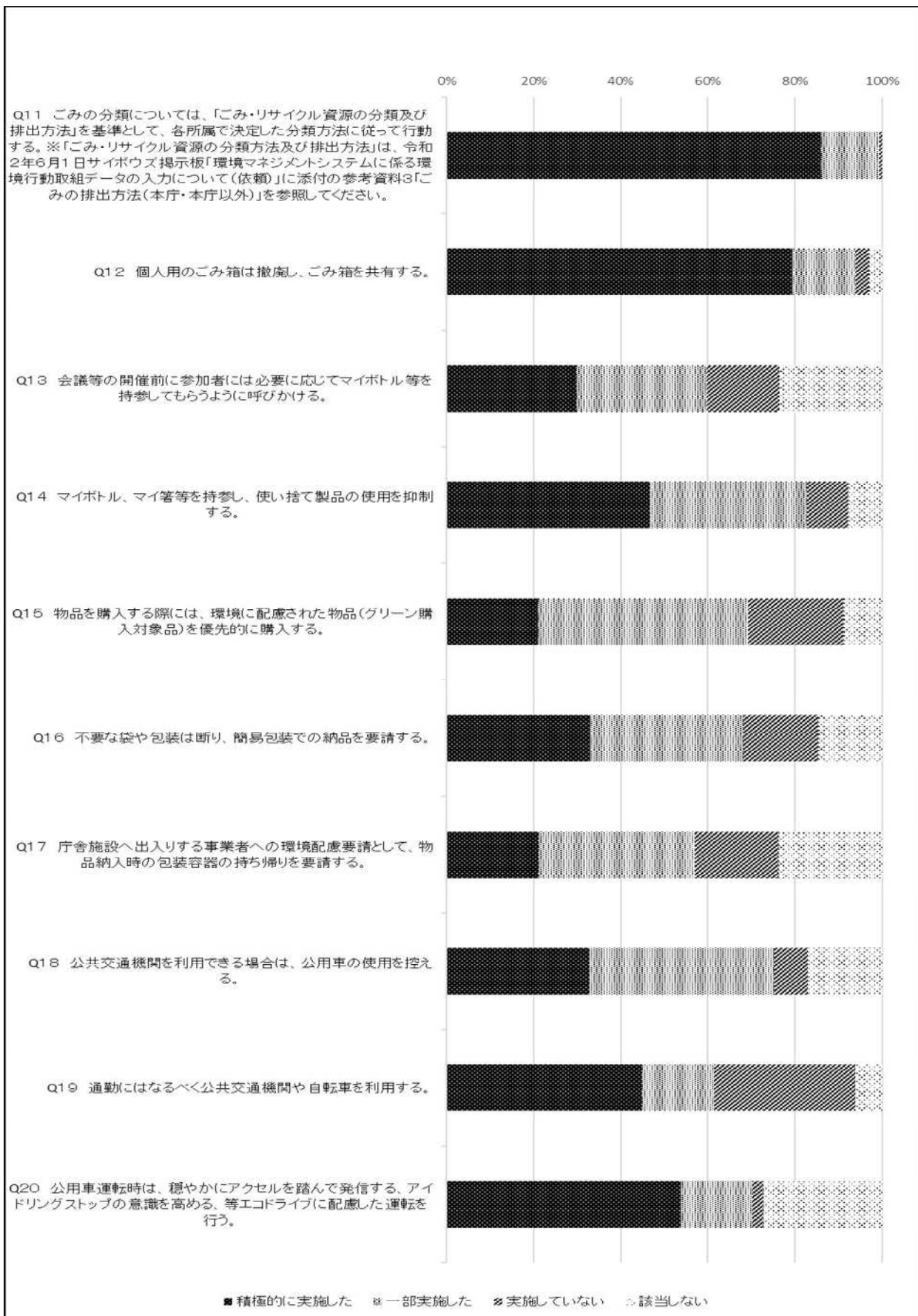
- ・調査票において取組予定を書く欄があるが、来年度は、予定通りに事業が進捗しているかを各所属が自己評価するための欄を設けるべきである。
- ・エコオフィス取組状況アンケートについて、来年度は回答率を上げるために、周知の仕方を改めてはどうか。
- ・エコオフィス取組状況アンケートの設問内容は、当たり前前に徹底されている項目も多いので、少し上のレベルの設問を加えてもよいのかもしれない。
- ・エコ推進責任者、エコ推進員が同時異動で、現場の運用状況が十分つかめない部署もあったことから、運用方法について引継ぎを徹底してもらうような周知の方法を検討してみてはどうか。

## 5. エコオフィス取組状況アンケート回答結果

実施期間：令和2年8月17日～9月9日







**Q21:エコオフィスの取組で、Q1から Q20 以外のことを実施されている場合、以下にご記入ください。**

- ・ 裏紙利用をととも積極的にしています。
- ・ 業務内容が保育なので、エコ意識を高く持つことを園児にも絵本・パワーポイントを使用し周知
- ・ 図書館の取り組みとして、リサイクル本(経年劣化等で除籍になった本)を来館者に無償提供している。
- ・ 太陽光発電の設置
- ・ 廃棄となる紙をメモに使っている。付箋を複数回利用する。
- ・ パソコンからのプリントアウトは一旦ドキュワークスを経由してから行い、ミスによる紙の消費を抑えている。
- ・ ゴーヤ等をつる植物を利用した日差しを遮るグリーンカーテンの設置。
- ・ 浴室に止水シャワーヘッドをつける等をして、入浴介助時の節水に心がけている。
- ・ エアコンの設定温度に気を付ける。原則として、職員室で設定温度の集中管理を行っている。
- ・ 空調使用時には、設定温度を冷房 28.0 度、暖房 20.0 度設定で運転しています。南駐車場においては日中は場内の照明を間引き点灯しています。
- ・ 各教室の担任にこまめに室温を確認するよう呼びかけ、(児童の熱中症の防止と新型肺炎対策としての空気の入れ替えを意識しながら)エアコンの温度設定を調整するよう呼び掛けている。
- ・ 水道蛇口・トイレの自動洗浄水の水量を根本から少なめに設定する。
- ・ 花の水やりを使用する水は、雨水をためたタンクの水を使用する。
- ・ 生徒及び職員ともティッシュ使用を控え、雑巾を 1 枚ずつ持参しふき取る習慣を身に付ける。
- ・ エコオフィスの取組として、2F、3F、事務所の給湯室の水量を制限、水の使用量を抑制するために「洗剤の使い過ぎに注意。必要な分だけ使用しましょう」の貼り紙をし、注意を促している。

**Q22:エコオフィスの取組以外で、本来業務における環境配慮や所属で取り組んでいる独自の環境施策があれば、以下にご記入ください。**

- ・ 公共事業によるリサイクル資材の積極的な活用
- ・ 毎週水曜日に庁舎周辺の環境美化に取り組んでいる
- ・ 古紙回収などリサイクルやリユースの取組、幼児に環境問題について知らせエコ活動に取り組む
- ・ マイバッグの持参
- ・ 老朽水道施設の更新による電力削減取り組み、小水力発電運用
- ・ 下水処理施設において、機器の運転で節電の取り組みを目標を決めて実施しています。
- ・ 各保育室に分別のごみ箱を設置し、園児のエコ意識を高めていけるよう、日々の保育や環境設定を積極的に行っている。
- ・ 校内巡回時に水道の蛇口がきちんと閉められているかの確認。
- ・ 保護者に呼びかけて牛乳パック回収等を実施している。
- ・ 清掃担当者との連携を密にし、館内美化や環境配慮への意識向上をスタッフ全員で図る。
- ・ シュレッダーはリサイクル回収に出している。小型家電・カートリッジ BOX を設置している。廃油の回収は毎週木曜日行っている。持参いただいた方にリサイクル石鹸をお渡ししている。
- ・ 児童の委員会活動の一環として、ペットボトルのキャップの回収やプラごみと可燃ごみの分別を児童たちに呼びかける取組を、年間を通じて行っている。
- ・ 夏場の芝生の水やりは、天気の状態を見極めて、雨の降らない日照りの日を中心に水やりをし、貯水の使い方に注意し、水不足に備える。
- ・ イベント時等でも、なるべく公共交通機関での来場や乗り合わせを要請し、周辺環境への配慮に努めている。設備担当者とも連携を図り、環境配慮への意識を高め、施設周辺の美化にも努めている。